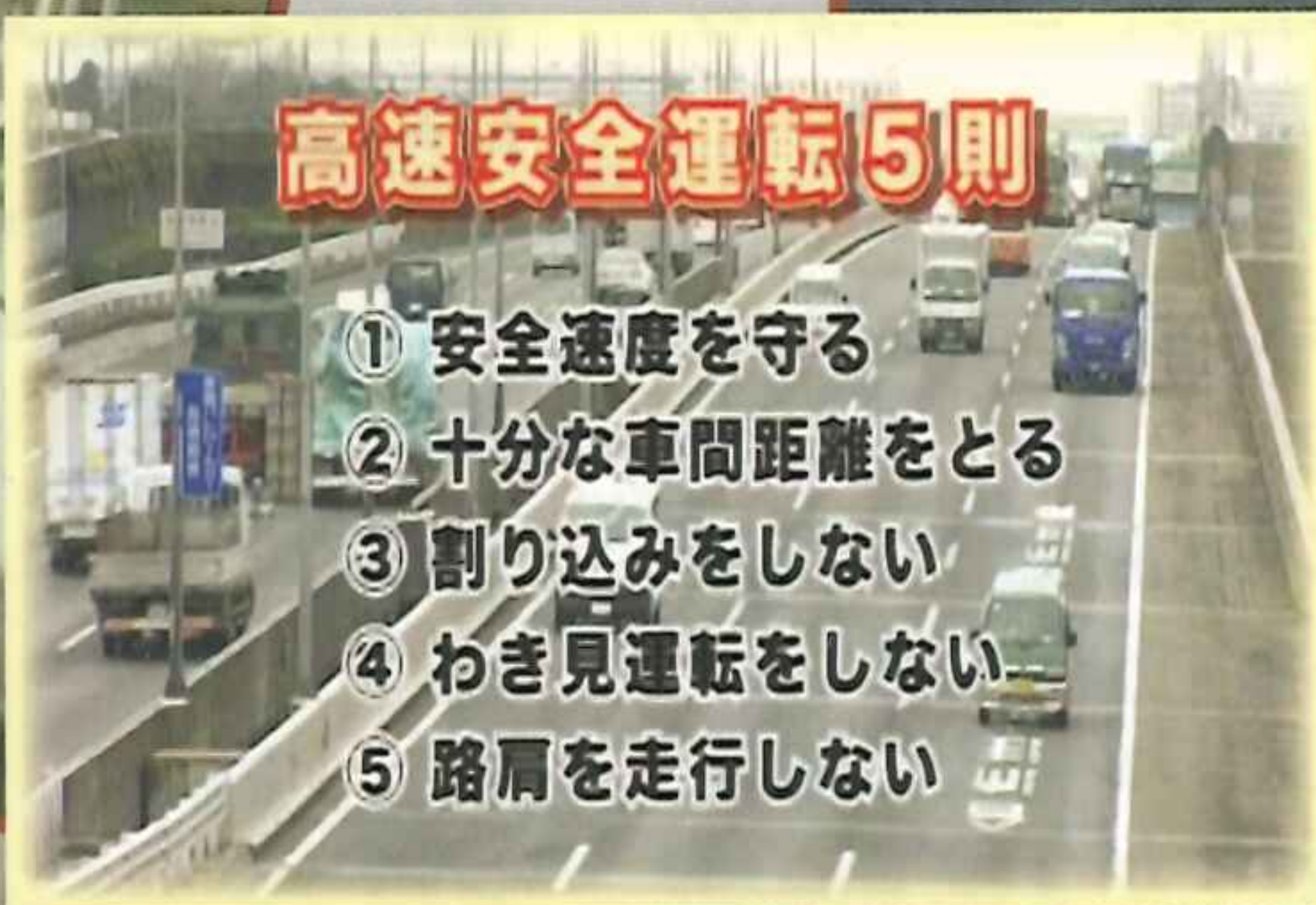


推薦：(財)全日本交通安全協会

交通安全教育ビデオ VHS・DVD【カラー・24分】

どう防ぐ 高速道路事故

危険予測と安全確認



レポーター 藤本えみり

企画意図

ドライバーにとって高速道路は、速く走れて、とても便利です。しかし、そこは時速80～100キロの世界。ちょっとしたミスで事故を起こすと、死亡事故につながる大惨事となります。交通事故の原因は、一言で言いつくされるものではありません。道路にも天候によっても左右されますが、事故防止の最大のカギは、ドライバー自身の危険予測と安全確認です。そして高速道路走行には、ドライバー自身が必ず守らなければならない「高速安全運転5則」があるのです。

この作品では、B級ライセンス取得者でもある女性ドライバーに実際に高速道路を走行してもらい、「高速安全運転5則」のポイントを徹底的に検証していきます。又、高速道路では、単純走行だけに睡魔に襲われることも、たびたびあります。その危険性についても実験で捉え、眠りに襲われたら、すぐに運転を止めることを強く訴えます。

作品の概要

B級ライセンスを持ち、様々なサーキットレースの競技会にも挑戦している女性ドライバー、藤本えみりが、高速道路での安全運転のポイントをレポートする。

■ハイスピード運転の危険性

車の衝突時の衝撃実験:時速80kmで衝突した時の衝撃は、ビルの5階の高さから落下したのと同じ。無残に大破する車が、高速道路事故の恐ろしさを物語っている。

走行速度は常に時速80～100km:その速度で衝突した時の衝撃は簡単に人間の命を奪ってしまう。高速道路での事故総数に占める死亡事故の割合は高く、一般道路の2～3倍にも上るのだ。

①安全速度を守る

走行が高速になるに従い狭まる視野:危険予測に関する重要な情報を見落とす要因となる。

スピードとハンドル操作の実験:スピードが高くなるに従い、ハンドル操作はより難しくなり、プロのドライバーでも障害物に衝突したり、コースから外れたりしてしまうのだ。

②十分な車間距離をとる

高速道路の事故要因のなかで大きな要因の一つである車間距離の問題を検証する。

高速道路事故の3分の2は追突:車間距離不足が招く追突事故。運転に慣れてくると、割り込み防止などで車間距離を短くしがちだ。しかし高速走行において50mの車間距離は、わずか2秒で通過。2秒では、どんなベテランドライバーでも危険を回避するのは難しいのだ。

③割り込み運転をしない

車間距離不足と同様、無理な割り込みも、高速道路では大きな事故を引き起こす要因だ。

割り込みをされて危険な状況を再現:割り込みをしてきたトラックに前後を挟まれる。車間距離も狭まり、高速道路で恐怖を感じる状況だ。多重事故を引き起こさないためにも、無理な割り込み、ジグザグ運転は絶対にしてはいけない。

④わき見運転をしない

ドライバーが情報をキャッチしてから手足が動くまでには1秒の時間を要する。これをもとに計算すると時速80kmで走行中、1秒間わき見をすると、ブレーキをかけて車が停止するまで76mを要する。同様に時速100kmで走行中だと停止するまでに、なんと112mの距離を必要としてしまう。更に雨で路面がぬれていた場合、制動距離は4倍!

⑤路肩を走行しない

最後に走行中の心得についてもふれていく。

- ・渋滞している時でも路肩走行はしない
- ・常に高速道路での落下物に注意を払う

■最も危険な居眠り運転

正常運転と居眠り運転のドライバーの目の動きを実験で比較。判断力の低下は歴然だ。居眠り運転を未然に防ぐために、睡眠不足を感じた時は、運転を控え、サービスエリア等で仮眠をとろう。最後に高速安全運転5則をもう一度復唱し終わる。**高速安全運転5則:**「安全速度を守る」「十分な車間距離をとる」「割り込み運転をしない」「わき見運転をしない」「路肩を走行しない」

推 薦 財団法人 全日本交通安全協会

製作統括・監督 高木 裕己

撮 影 松尾 研一

編 集 村岡 麻世

レポーター 藤本 えみり

取材協力:公益財団法人 労働科学研究所

映像提供:NHK/写真提供:山口県警察本部

■¥65,000 (本体価格)

■VHS・DVD[カラー・24分]

DVDには字幕付き映像も収録されています

●お問い合わせ、お買い上げは……

(映)

有限
会社

博映商事

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1丁目3番31

TEL. (092) 741-0306

FAX. (092) 741-6628 特殊